

ねんかん み っ 6年間で身に付ける



年 なまえ

よしわらしょうまなび ぶろぐらむ 吉原小学びのプログラム

げんごかつどう げんご げんご 言語活動プログラム 学年	1	2	3	4	5	6
おんどく たんにんがい せんせい 音読 担任外の先生に○分 間つまずかずに聞いてもらう	① ② ③ 2分 ○	① ② ③ 2分 ○	① ② ③ 2分 ○	① ② ③ 3分 ○	① ② 3分 ○	① ② 3分 ○
おんどく 音読タイムチャレンジ 1ふんかん いじょう 1分間に○字以上	260 ○	280 ○	300 ○	300 ○	300 ○	300 ○
かんじけんてい 漢字検定 1年：100級～93級 2年：92級～79級 3年：78級～59級 4年：58級～39級 5年：38級～20級 6年：19級～1級	100級～ ⑤ () 級 ⑥ () 級 ⑨ () 級 ⑩ () 級 ⑪ () 級 ① () 級 ② () 級 ③ () 級	100級～ ⑤ () 級 ⑥ () 級 ⑨ () 級 ⑩ () 級 ⑪ () 級 ① () 級 ② () 級 ③ () 級	100級～ ⑤ () 級 ⑥ () 級 ⑨ () 級 ⑩ () 級 ⑪ () 級 ① () 級 ② () 級 ③ () 級	100級～ ⑤ () 級 ⑥ () 級 ⑨ () 級 ⑩ () 級 ⑪ () 級 ① () 級 ② () 級 ③ () 級	92級～ ⑤ () 級 ⑥ () 級 ⑨ () 級 ⑩ () 級 ⑪ () 級 ① () 級 ② () 級 ③ () 級	78級～ ⑤ () 級 ⑥ () 級 ⑨ () 級 ⑩ () 級 ⑪ () 級 ① () 級 ② () 級 ③ () 級
どくしょ ねんかん さつじじょうほん 読書 年間50冊以上本を よむ 読む	○	○	○	○	○	○
ししゃ ぶんかん じいじょう 視写 10分間に○字以上 かける 書ける	100 ○	150 ○	180 ○	200 ○	250 ○	300 ○
さくぶん げんごうようし だだ 作文 原稿用紙に正しく じていどか ○字程度書ける。	100 ○	150 ○	260 ○	300 ○	400 ○	600 ○

クリアしたら金シールをはりましょう。

マスタープログラム 学年	1	2	3	4	5	6
ひらがなが書ける						
かたかな カタカナが書ける						
かけ算九九が言える						
慣用句50問が言える						
ローマ字が書ける						
47都道府県名が言える						
ことわざ50問が言える						
歴史事象50問がわかる						

半分できたら銅シール 7割できたら銀シール 全部できたら金シール

6年間で学ぶ 言語活動プログラム

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
音読	担任外の先生に音読を聞いてもらう。 1, 2年生 年4回		3, 4年生 年3回		5・6年 年2回	
	1分間に260字以上を読む。(正しく)	1分間に280字以上を読む。(正しく)	1分間に300字以上を読む。(場面の様子がわかる)	1分間に300字以上を読む。(場面の様子がわかる)	1分間に300字以上を読む。(思いや考えが伝わる)	1分間に300字以上を読む。(思いや考えが伝わる)
漢字の読み	新出漢字(80字)を9割読むことができる。	新出漢字(160字)を9割以上読むことができる。	新出漢字(200字)を9割以上読むことができる。	新出漢字(200字)を9割以上読むことができる。	新出漢字(185字)を9割以上読むことができる。	新出漢字(181字)を9割以上読むことができる。
漢字検定	100級～93級	100級～79級	100級～59級	100級～39級	92級～20級	78級～1級
読書	① 週に1回(木)は朝の自習の時間に読書を行う。 ② 吉原フレンズ(保護者ボランティア)による読み聞かせを聞く。 ③ 親子(家庭)読書に取り組む。					
	読書記録カード 読書冊数年間50冊以上	読書記録カード 読書冊数年間50冊以上	読書記録カード 読書冊数年間50冊以上	読書記録カード 読書冊数年間50冊以上	読書記録カード 読書冊数年間50冊以上	読書記録カード 読書冊数年間50冊以上
視写 (ししゃ)	「うつしまるくん」(1・2年)を積極的に活用する。 毎月第3・4・5集の水曜日のパワーアップ学習(6校時)時間に視写にチャレンジする。 定期的にスピードチェックを実施する。 視写した内容は自己評価及び相互評価する。					
	10分間に100字以上書くことができる。	10分間に150字以上書くことができる。	10分間に180字以上書くことができる。	10分間に200字以上書くことができる。	10分間に250字以上書くことができる。	10分間に300字以上書くことができる。
日記	・機会をとらえて日記を書く。 ・日記帳は定期的に提出する。					
ノート指導	よいノートづくり ・日付や単元名, 学習課題, 学習計画などを書く。 ・自分の意見や感想, 調べたことを書く。 ・他の友だちの考えや意見を書き加える。 ・課題に対しての自分のまとめを書く。 ・学習を振り返り, 何ができるようになったのかを書く。 <注意する点> ・鉛筆の持ち方, 鉛筆の濃さ, 机の高さ, 姿勢等に気をつける。 ・学習時のワークシートやプリント類等は, ノートに添付したり, ファイルにとじ込めたりする。					
国語辞典	・マイ辞書の活用を進める。(貸し出し可) ・語句を調べたら, マーキング(番号のみ)し, 付箋紙を添付する。 ・単元の導入時には, 語句調べをし, 適応する内容を「語句調べ」のワークシートに書き出す。					
原稿用紙に 正しく書く	チェック項目 ①主語と述語が対応している。 ⑥一文が短い。 ②文末表現が一貫している。 ⑦接続語を適切に使う。 ③助詞(て, に, を, は)が正しく書ける。 ⑧「」を正しく使える。 ④句読点が正しく打てる。 ⑨段落をつける。 ⑤漢字, 言葉遣いが正確。 ⑩20分程度で書ける。					
	作文を原稿用紙に正しく100字程度書くことができる。	作文を原稿用紙に正しく150字程度書くことができる。	作文を原稿用紙に正しく260字程度書くことができる。	作文を原稿用紙に正しく300字程度書くことができる。	作文を原稿用紙に正しく400字程度書くことができる。	作文を原稿用紙に正しく600字以上書くことができる。
推敲 (ずいこう)	文章を読み直し, 間違いに気づいたら正しくなおすことができる。		文章の間違いを正したり, よりよい表現に書き直したりすることができる。		表現の効果などを確かめたり工夫したりすることができる。	

